



なでしこ

令和8年1月8日
さいたま市立谷田小学校
TEL 882-2980
FAX 811-1334
<http://yada-e.saitama-city.ed.jp>
【在籍児童数】 599名

【校風】かしこく なかよく たくましく 【教育目標】進んで学ぶ子 たがいに助け合う子 かいばいやりぬく子

新しい年をむかえて

校長 村田 寿一

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。冬休みの間、子どもたちは幸い大きな事故やけがもなく、楽しく過ごせたようです。新学期開始の朝、にこにこ挨拶を返してくれる子が多く、中には「今年もよろしく願います。」とお辞儀をする子もいて、ご家庭で楽しく年末年始を過ごされたことがうかがえました。また、冬休み中のできごとや、今年の抱負などを元気よく話す声も聞こえ、新しい年を迎えて、谷田っ子達全員がはりきっている様子が伝わってきました。

今年は、十二支では「午」、十干十二支で言うと「丙午（ひのえうま）」になります。「丙（ひのえ）」は、生命の力強い成長や物事を大きく広げるエネルギーを意味し、「午（うま）」は躍動感や行動力を表すとのことで、これらが合わさることで、情熱や勢いが高まる年とされているそうです。一人ひとりが情熱をもって自分を磨き、成長を実感するにはとてもよい年と言えそうです。学校では目標にむけてチャレンジしたり、達成できたことに満足せず更によいものにしようとしたりする向上心をもって取り組めるようにはげましてきたいと思います。

さて、午年を迎えると、私が子どもの頃に聞いたある馬のことを思い返します。その馬の名前は「キーストン」、今からおよそ60年ほど前に競馬の競走馬として活躍した馬です。私は競馬に興味があるわけではないのですが、この馬のある行動が、私が動物を好きになるきっかけとなるくらい大きな感動を与えてくれました。キーストンは昭和37年に北海道で生まれました。体は小さくあまり目立たなかったため、競馬馬として活躍することはとても無理だろうと思われていました。ただ、走ることが大好きで、毎日とにかく真面目に一生懸命に走る馬だったそうです。ひたむきに頑張ったキーストンは見事競走馬デビューを果たすとあれよあれよという間に6連勝し、大人気の馬になりました。ついには日本一の馬を決める大レースである日本ダービーに挑戦することになったのです。キーストンの戦法は「逃げ」、とにかく最初から全力で先頭に立ちそのままゴールまで全力で走るというものでした。小さな体で懸命に走る姿は見るもの皆に勇気をくれ、誰もが応援をしました。キーストンは見事1着でゴールし、日本一の馬となったのです。しかしその栄光は束の間でした。昭和42年12月、運命の時はきてしまいました。この日のレースもキーストンは気持ち良さそう先頭をはしっていました。誰もがキーストンの勝利を疑いませんでした。ところが、突然、キーストンの小さな馬体が前につんのめり、乗っていた騎手は宙を飛んで地面に叩き付けられてしまったのです。キーストンも転んだまま立てませんでした。キーストンの左前足は完全に脱臼し、今や皮一枚で繋がっているだけの状態でした。そして、とばされた騎手は意識がとんで、動けないでいました。誰もがキーストンはもう立てない、騎手を早く助けないと、と思ったその時、騎手の方を向いてもがいていたキーストンは三本の足でやっと立ち上がると、激痛で動けるはずがないのに一歩また一歩と、昏倒した騎手に向かって歩き始めたのです。キーストンはやっと倒れている騎手の所に辿り着くと、心配げに鼻面を摺り寄せ、二度三度起こして立たせようとしたそうです。人々の目に、それはまるで、母馬が起き上がれない子馬を励まして、鼻面で優しく立たせようとしている姿に見えていました。レース場はしんと静まり返り、皆涙を流してこの光景を見守っていたそうです。

今年一年、皆様、そしてお子様はどんな夢や目標をもたれたでしょうか。3月の修業式・卒業式まで登校する日数は40日ほどです。一年のまとめをしっかりとし、来るべき次年度の備えをするときです。夢や目標の実現に向かってひたむきに、こつこつと努力を続けることが大切だと思います。焦らず、あきらめずに続ける大切さを小学生の時に実感して欲しいと願っています。学校は夢や希望を語る場所です。だからこそ、子ども達一人ひとりの思いや願いに寄り添い、「前向きな期待」で支え、「さあ、始めよう」「あきらめずに次に向けて進んでいこう」と一歩を踏み出す勇気を与えられるように、教職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。今年も皆様と共に、子ども達の健やかな成長を育んでいきたいと思っております。よろしく願いいたします。

